



## 平成 29 年度 第 2 回グローバル講演会開催

10月2日(月) ZIP-FM ミュージックナビゲーターの南城大輔さんをお招きし、平成 29 年度第 2 回グローバル講演会を開催しました。講演内容は、「グローバル化する世界の中で若い君たちに期待すること」と題して、お話いただきました。途中でお楽しみ企画として生徒に向けたクイズなどもあり、大変和やかな雰囲気にも包まれた講演会となりました。



校長先生による講師紹介



講師の南城大輔さん

南城さんは、シドニーの高校を卒業し、イギリス・フランス・スイスなどでの滞在経験に加え、モータースポーツの選手としての活動、そして現在では DJ の他に経営コンサルタントもされている多彩な方です。

最初にご自身の経験と現状を踏まえた自己紹介がありました。国内外の有名アーティストとの交友関係があり、グローバル社会に精通している方ということが生徒にも伝わりました。

本題のお話は、「世界の言語の種類がいくつあるのか」という問いに始まり、その中で「よく使われる言語はどれか」、また、「世界最強言語」と題し、たとえば国際社会において、経済、ネット、国際問題などの「話題」や「会話」の中で、どの言語がよく使われているかなどを、データを用いて紹介してくださいました。

母語話者・第二言語話者数の世界ランキング

Rank	Language	Family	L1 speakers	L1 Rank	L2 speakers	Total
1	Mandarin Chinese (incl. Standard Chinese)	Sino-Tibetan, Chinese	899 million	1	175 million	1074 million
2	English	Indo-European, Germanic	359 million	3	522 million	881 million
3	Spanish	Indo-European, Romance	502 million	2	79 million	579 million
4	Hindi	Indo-European, Indo-Iranian	370 million	4	130 million	499 million
5	Arabic	Afro-Asiatic, Semitic	280 million (2017)	5	132 million	412 million
6	Malay (incl. Indonesian and Vietnamese)	Austroasiatic, Malay-Polynesian	77 million (incl. 69M)	15	204 million	281 million
7	Russian	Indo-European, Slavic	140 million (2010)	8	113 million (2010)	253 million
8	French	Indo-European, Romance	80 million (2015)	14	162 million (2015)	242 million
9	Portuguese	Indo-European, Romance	239 million (2010)	6	31 million (2010)	263 million
10	Bengali	Indo-European, Indo-Iranian	224 million (2011)	7	19 million in Bangladesh (2011)	243 million
11	German	Indo-European, Germanic	89 million (2014)	11	16-15 million	106-105 million
12	Urdu	Indo-European, Indo-Iranian	69 million (2007)	13	64 million (1995)	133 million
13	Haitian Creole	Afro-Asiatic, Creole	95 million	12	60 million	155 million
14	Punjabi	Indo-European, Indo-Iranian	146 million	9	5	151 million
15	Japanese	Japanese	130 million	10	1 million (2010)	130 million
16	Persian	Indo-European, Indo-Iranian	60 million (2000)	16	61 million	121 million



示された資料

そして、スペイン語や中国語が、グローバル社会の言語としては上位に挙がっており、日本語はグローバル社会の言語としては上位に挙がっておらず、今後の日本の人口減少とともに、その地位はさらに低くなるかもしれないという旨のご指摘をされました。

さらに、グローバル化について、今後 AI やロボットに代替される職業と、人間にしかできない職業があることに触れ、世界市場(マーケット)に目を向けることの大切さを話してくださいました。その中では、

- 「世界で勝負することがグローバル化である」
- 「日本人は英語を話せることがアドバンテージ(優位)であると思っているが、グローバル社会ではそれはアドバンテージでなく、必要最低限の能力にすぎない。日本人が英語力で日本人としてのアイデンティティを表現していけること、海外で自分の得意分野で活躍して行けることが大事。」
- 「自分の夢を公言できるようになることが大切である。」

と、生徒たちに伝えてくださいました。



講演を聴く生徒たち



最後に、生徒会からお礼の花束を贈呈

昨今、「グローバル化」や「グローバルな人材」という言葉をよく耳にします。これらの言葉を、具体的に考える契機となる、素晴らしいお話を聴くことができました。本日は、お忙しい中ありがとうございました。以下は生徒の感想です。

「英語力はあるって当然だとおっしゃっていたのが印象的だった。加えて全体的な講演の様子から、どれだけ人を引き付ける話ができるかも大切だと感じた。」(1年・男子)

「私が今苦しんでいる英語は話せるようになるだけじゃ何のプラスにもならないと聞いて、もっともっとがんばろうと思いました。夢はイメージトレーニングしないと絶対かなわないという言葉に強く心をうたれました。」(1年・女子)

「今まで英語をやればなんとかなると思っていた思いをくだかれた気持ちです。世界の中で、自分になにができるかをよく考えようと思います。」(2年生・女子)

「これからの時代において、英語の大切さがわかりました。日本の特異性も持つことが大切だとわかりました。」

(2年・男子)

「興味を持って聞くことができた。アイデンティティを失わずに語学力をつけようと思った。」(3年・男子)

「今回を大変楽しみにしていました。漫然と勉強している日々ですが、これからは夢を公言できるよう努力し、また「英語は当たり前」という意識を忘れずに勉強していきたいです。」(3年・女子)